

貸借対照表

平成28年3月31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 遠藤 雅彦

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 I 流動資産】	【 161,862 】	【 I 流動負債】	【 209,392 】
現金・預金	161,475	短期借入金	0
未収入金	0	1年以内返済長期借入金	196,400
前払費用	173	未払金	0
繰延税金資産	213	未払費用	360
未収還付消費税	0	未払利息	6,304
		未払法人税等	848
		未払消費税等	5,478
		預り金	
【 II 固定資産】	【 3,333,405 】	【 II 固定負債】	【 2,890,207 】
有形固定資産	(2,300,357)	長期借入金	2,887,100
建物及び設備	359,594	長期未払金	393
構築物	3,615,234	役員退職慰労引当金	2,714
機械・装置	46,245	その他の固定負債	
工具器具備品	692		
土地	10,503		
リース資産	1,036		
減価償却累計額	△ 1,732,948	負債の部合計	3,099,599
		純資産の部	
		【 I 株主資産】	【 395,668 】
		1. 資本金	400,000
		2. 利益剰余金	△ 4,331
		その他利益剰余金	△ 4,331
		繰越利益剰余金	△ 4,331
無形固定資産	(1,033,047)	【 II 評価・換算差額等】	【 0 】
電話加入権	72		
ソフトウェア			
鉄道軌道連絡通行			
施設利用権	1,032,975		
投資等	(0)		
		純資産の部合計	395,668
資産の部合計	3,495,268	負債・純資産の部合計	3,495,268

(注) 1. 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株あたりの当期純利益 256円52銭

個別注記表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

2. 引当金の計上基準

(1) 役員退職慰労引当金

役員の役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

4. リース取引の処理方法

(1) 平成23年度までのファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

(2) 平成24年度以降のファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、リース資産会計処理を行っております。

5. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

金利スワップの特例処理を行っております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

当事業年度にヘッジ会計を適用した手段とヘッジ対象は、以下のとおりであります。

ヘッジ手段：金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段としております。

ヘッジ対象：長期借入金

(3) ヘッジ方法

① 金融取引における将来の金利変動等によるリスクを回避する目的で行っております。

② 金利スワップは実需の範囲内で行っており、投機的な取引は行わない方針であります。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

1, 732, 948 千円

2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

(1) 短期金銭債務

0 千円

Ⅲ. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との営業取引の取引高総額 339,778 千円

Ⅳ. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済総数 普通株式 8,000 株

Ⅴ. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生原因内訳

未払事業税	681 千円
合計	681 千円

Ⅵ. 関連事業者との取引に関する注記

1. 名称 日本貨物鉄道株式会社

議決権割合 49 %

取引内容 営業取引 営業収益 339,778 千円

営業外収益 11 千円

営業費用 1,561 千円

営業外費用 0 千円

Ⅶ. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は 49,458円59 銭

2. 一株当たり当期純利益金額は 256円52 銭

Ⅷ. 会計方針の変更

特記無し

Ⅸ. 当期純利益

2,052 千円

(注) Ⅶ以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。